

名 称	鹿沼市小中学校再編計画策定に向けた意見交換会(永野地区)について
日 時	令和6年5月14日(火)19時00分~20時00分
場 所	永野コミュニティセンター
出席者	参加者:14名
	<p>【質問】</p> <p>小中一貫校や義務教育学校を検討している地区があるが、どのような経緯か。</p> <p>【回答】</p> <p>鹿沼市として初めての試みとなる小中一貫教育は、南押原地区で小中一貫校、北犬飼地区で義務教育学校を検討している。</p> <p>南押原地区については、小学校と中学校の校舎が隣接している位置関係にあり、地域で数年前から小中一貫教育をやりたいという動きもあったため、小中一貫校を提案した。</p> <p>北犬飼地区では北犬飼中の校舎の更新が迫っており、地区内の小学校の規模も小さくなっていることから、校舎の更新に合わせて義務教育学校の新設を提案した。</p> <p>小中一貫教育は、中1ギャップなどに対応するものとして平成28年に制度化された。保護者から小中一貫教育を望む声があれば、検討することも考えている。</p> <p>【意見】</p> <p>南押原地区は校舎が隣接しているため小中一貫校を検討しているとのことであったが、校舎の位置関係よりも教育方針としてのメリットデメリットを整理したうえで決めるべきなのではないか。</p> <p>栗野地区においても、栗野小と栗野中が近い距離にあり、4校の統合に併せて小中一貫教育を検討することも可能なのではないか。</p> <p>保護者の意見が最優先されるべきであり、地域としても統合はやむを得ないものと考えているが、何より子ども達がより良い教育を受けられるようにしていただきたい。そのために小中一貫教育がいいのか、現在の案がいいのかをきちんと検討してほしい。</p> <p>【回答】</p> <p>小中一貫教育については、地域との合意形成ができた後、保護者の方達と一緒に検討していきたい考えである。</p> <p>なお、県内で小中一貫教育をすでに実施している事例を視察したが、先生方の乗り入れや行事等の連携には距離が近いことが重要な要素との印象を受けた。栗野小と栗野中の場合スクールバス等での移動が想定されるが、それらも含め保護者と検討していきたい。</p> <p>【意見】</p> <p>説明資料に「一定規模の学校規模を確保することが重要」や「教育環境の充実により教育の質の向上を実現」との記載があるが、現状がそれらを満たしていないと書かれているように感じる。</p> <p>自身の子どもに学校と一緒にいるかもしれない話をしたところ、少人数で授業をしている今の環境の方がいいと言っている。</p>

今の環境では、先生方の目が行き届いており、施設が十分に使え、年齢の異なる子ども同士が交流しコミュニケーションを取っている。再編により人数が増えたとしても、クラス内の付き合いで止まってしまう、今のような幅広い年齢間での交流は無くなっていくと思う。それが集団の中で多様性に触れ、認め合うということに繋がるのか疑問である。

【回答】

小規模校にも適正規模にもメリットデメリットがあり、一概に小規模校を悪いという捉え方はしていない。

メリットデメリットがあることを踏まえたうえで、適正規模化により得られるメリットの方が上回ると考え、同様のことが文科省から示されていることから、国が示す「義務教育の目的」を達成するためには適正規模の方が望ましいと判断し、今回の案を提案したものである。小規模校を否定する意図はない。

【発言者返答】

保護者向け意見交換会の時も感じたが、児童生徒を第一に考えると書いてはあるものの再編案の中に子供の意見がない。その辺も含めて考えていただきたい。

【回答】

学校再編は、大人の責任・行政の責任と考えている。子どもの意見については、合意形成後、校名や校歌、制服などの「統合後の学校づくり」に関する部分について、児童生徒から意見を聞いていきたいと考えている。

【意見】

再編にあたって一番大事なものは、保護者のアンケート結果と考える。

個人的には、再編の話が出るのが5年10年遅かったと感じる。自身が育った頃は永野地区でもたくさんの子供がいたが、10年ほど前から急激に減ってきており、もっと早く話があるべきであった。

子どもが離れてしまうことは寂しいが、子どものことを考えれば再編は仕方のないものであり、それにより地域住民と子どもの接点が少なくなってしまう部分をどうカバーしていくかが我々住民の課題だと思う。

先ほど保護者の方から発言があったが、100点を取るのには難しくなかなか決まらないと思う。きちんと保護者と話し合い、7割超が統合に賛成している状態を重要視するのが良いのではないかと。

【質問】

骨子p.3に学校跡地の利活用に関する記載があるが、西大芦小や上粕尾小などのすでに統合された学校の活用状況はどうなっているか。

【回答】

上粕尾小については、酒蔵としての活用が動き始めている。

久我小は、御成橋町にあった准看護学校が移転し利用していたが、今年の3月に終わったため、現在は新たな活用を考えている。

	<p>西大芦小は地域で活用に関する検討がされている。夏季の観光客向け駐車場や地域のふれあい弁当調理場としてすでに利用がされており、民間としてはドローン教室等の提案がある。</p> <p>学校再編にあたっては、合意形成後の統合準備期間を2～3年設ける想定であり、その期間中に学校関係の諸事や地域の文化継承、子どもへの配慮等を決めていく。跡地活用についてもこの期間で並行して議論し、学校が閉まる前のある程度の方向性や活用方法の検討を進めていきたいと考えている。</p> <p>【意見】</p> <p>再編のデメリットに対して、順応できる子どももいればできない子どももいる。主役は子ども達であり、順応できない子へのケアをきちんとしていただきたい。</p> <p>【回答】</p> <p>統合に際し、準備期間の間に統合先の児童生徒と一緒に勉強したり触れ合う機会を設ける想定である。また、元居た学校の先生を統合先の学校へ異動させるなどの人事的な配慮も想定しており、子ども達に楽しく学校に通ってもらえるように様々な配慮をしたうえで進めていきたいと考えている。</p> <p>ケアに関するご意見は他の地域でもいただいており、しっかりと対応していきたい。</p> <p>～事務局から事務連絡～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 いただいた意見は、全地区終了後、個人情報に配慮した形でHP上に掲載させていただきます。 2 今後のスケジュールとしては、6月までに全15地区の地域住民向け意見交換会を実施し、7月からはいただいた意見を踏まえた検討、9月にパブリックコメントの実施、10月に計画策定を目指している。 3 計画策定後は、改めて地域に訪問して説明を予定している。 <p><閉会>20:00</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・学校再編の目的 ・小中一貫教育について ・鹿沼市小中学校再編計画骨子及び鹿沼市の小中学校の配置図 ・アンケート用紙